

令和7年度 道徳教育全体計画（案）

令和7年4月3日
五島市立岐宿小学校

<児童の実態> ・ 明るく誠実で親しみやすい。 ・ 主体性や粘り強さにやや欠ける。 ・ 礼儀や規範意識に欠けるところがある。 ・ 言葉遣いがよくない児童がいる。	学校教育目標 笑顔あふれる、心身ともにたくましい子供の育成 ～岐宿大好き 笑顔あふれる楽しい学校～	・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・教育関係法規 ・学習指導要領
<保護者・教師の願い> ・ 生命を大切にする子 ・ 思いやりと感謝の心をもつ子 ・ 礼儀正しく、自立する子 ・ 最後までやり遂げる子 ・ 自らを高めようとする子	<めざす児童像> ・ 思いやりのある子 ・ 楽しく学ぶ子 ・ たくましい子	<時代や社会の要請> ・ 生きる力の育成生命を大切にす る子 ・ 多様な価値観の、時に対立がある場 合を含めて、誠実にそれらの価値に 向き合い、一人一人の児童が自分 自身の問題として捉え、向き合う「考 える道徳」「議論する道徳」へと転換 を図る。
道徳教育重点目標 ○ 「命・心」を大切に教育の推進 ○ 道徳的な判断力、心情・実践意欲と態度を育てる。 具体的努力事項 ○ 「考え、議論する」道徳授業の実践とさらなる研究 ○ 家庭と連携した道徳の指導 ○ 日常的な人権教育の実施（「あなたが大切」） ○ いじめ根絶（0件）		
低 学 年 ○ よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを 進んで行うこと。 A-（1）善悪の判断、自律、自由と責任 ○ 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛け て、明るく接すること。 B-（8）礼儀 ○ 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にす ること。 C-（10）規則の尊重 ○ 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にす ること。 D-（17）生命の尊さ	中 学 年 ○ 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志 をもち、粘り強くやり抜くこと。 A-（5）希望と勇気、努力と強い意志 ○ 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。 B-（9）友情、信頼 ○ 誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度 で接すること。 C-（12）公正、公平、社会正義 ○ 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にす ること。 D-（19）生命の尊さ	高 学 年 ○ 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さに つ いて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り 節 制に心掛けること。 A-（3）節度、節制 ○ 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異 性についても理解しながら、人間関係を築いてい くこと。 B-（10）友情、信頼 ○ 先生や学校の人々を敬愛し、みんなて協力し合っ てよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な 集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の 充実に努めること。 C-（16）よりよい学校生活、集団生活の充実 ○ 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけが えのないものであることを理解し、生命を尊重 すること。 D-（19）生命の尊さ
<各教科との関連> 各教科等の指導目標の達成を目指す中で、道徳 教育との関連をふまえ、道徳的心情を豊かにし、 道徳的判断力を養い、道徳性に関わる実践的態 度を養う。 国語 ・ 互いの立場や考え方を尊重しながら言葉で 伝え合う力を高める。 社会 ・ 自他の人格を尊重し、社会的義務や責任を 重んじ、公正に判断しようとする態度や能力な どの公民的資質の基礎を養う。 算数 ・ 日常の事象について見通しを持ち筋道を立 てて考え、表現する能力を育てる。 理科 ・ 栽培や飼育などの体験活動を通して自然を 愛する心情を育てる。 生活 ・ 自分と身近な人々、社会及び自然と直接か かわる活動や体験を通して、自然に親しみ、生 命を大切にするなど自然とのかかわりに関心をも つ。 音楽 ・ 音楽を愛好する心情を育てる。 ・ 豊かな情操を育てる。 図工 ・ つくりだす喜びを味わわせる。 ・ 造形的な創造による豊かな情操を育てる。 家庭 ・ 生活をよりよくしようとする態度を育てる。 ・ 家庭生活を大切にす心情を育む。 体育 ・ 運動に親しむ資質や能力の育成、健康の保 持増進、体力の向上の3つの目標を相互に関 連させながら学習していくことを通して、元氣な 体と互いに認め合う心をもち、友達とかかわり ながら学習しようとする心情を育てる。	<道徳科の時間の充実> ○ 学校における全教育活動を通じて行う道徳教育と密接な 関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを 補ったり、深めたり、相互の関連を考えて発展させ、統合させ たりすることで、道徳性を養う。 ・ 児童一人一人がしっかりと課題に向き合い、言語活動や多 様な表現活動を通じて、また、実際の経験や体験も生かしな がら、内省し、熟慮し、自らの考えを深めていく授業を行う。 ・ 学習活動を具体化して、道徳的諸価値についての理解を 基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の 生き方についての考えを深める学習を行う。 ・ 児童一人一人が、日常生活や今後生かそうであろう様々な 場面、状況において道徳的価値を実現するための適切な行 為を主体的に選択し、実践できるような内面的資質を育む。	<特別活動における道徳教育> 【学級活動】 基本的な生活習慣の形成、望ましい人間 関係の育成 【児童会】 自発的・自治的な活動を通して、協力して 解決する態度の育成 【クラブ】 異年齢による望ましい人間関係の育成、個 性の伸長 【学校行事】 協力、責任、公德心、勤労、奉仕等の道徳 性の育成
<総合的な学習の時間における道徳教育> 横断的・総合的な学習や探究的な学習を 通して、主体的に判断して学習を進めたり 粘り強く考え解決しようとしたりする資質や 能力、自己の目標を実現しようとしたり、他 者と協力して生活しようとしたりする態度を 育てる。		
<英語・外国語活動における道徳教育> ・外国語を通じて、言語や文化について体 験的に理解を深め、積極的にコミュニケー ションを図ろうとする態度を育てる。 ・日本人としての自覚をもって、世界の人々 と親善を深めようとする態度を育てる。		